令和７年度　「学校評価結果報告書」

朝日橋幼稚園

当園ではこの度、令和７年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。
また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

Ⅰ．教育目標

「心素直に強い身体」を園訓として、一人ひとりの子ども達の心と身体に秘められた可能性が健やかに育まれることを願いとしています。
「一生懸命、思いやる、創る」という３つの心が一人ひとりの子ども達の内に抱かれ、やがて来る未来に応えていく土台が育まれることを目的として、一人ひとりの自主性と、お友達との交流を大切にした保育を実践します。

Ⅱ．今年度の重点目標

●姉妹園と連携した取り組みの充実　●災害対策の強化　●安全管理体制の充実
●保護者への情報発信の充実　●未就園児親子との交流

Ⅲ．評価項目と取組み状況

1	姉妹園との連携した取り組みの充実	お互いの園児同士・職員同士が交流できるように合同で遊ぶ機会を設ける。遊んだ後に子どもたちの	B	職員同士は作品展を見せ合うことで学んだり、園外保育の行先を共有するなど、情報の交換はできているが、子ども達の

		感想を収集し、担当の職員が取りまとめて今後のさらなる交流と連携に活かしていく。		交流ができていないので、今年度の検討課題とする。案としては日にちを分けて学年ごとに交流を深める、発表会の見せ合いをする、お互いの園の遊具で遊ぶなどを視野に入れている。
2	安全管理体制の充実	毎日の施設、設備、遊具等の安全点検に加えて、定期的（学期ごと等）な総点検の仕組みの導入を検討する。点検項目を設定してチェックリストの作成を検討するとともに、定期的に安全チェックを行うことで、施設・設備が原因となる事故を未然に防止し、より安全な保育環境を目指す。	A	放課後の掃除の際と日直の者がチェックリストを用いて安全点検を行うようにした。不備や異常があった場合は主任に報告をするようにしている、点検者によって点検のレベルに差があることが今後の検討課題である。　さらに今後の地震などの災害などに備えたマニュアルの作成を行うことを検討する。
3	保護者への情報発信の充実	行事予定や長期休暇中の預かり保育の日程などについて、できるだけ早くご家庭に情報発信できる体制を整える。保護者からの意見や要望を把握できるように、日々コミュニケーションをとり、信頼関係の構築に努める。アンケート結果を検討し、保護者の意見・要望の把握と改善に取り組む。	A	新学期・学期末に個人懇談を行い、園での様子を伝えた。気になることがあればすぐに電話で保護者に伝えるようにした。　手紙などで行事や長期休暇中の預かり保育の日程などお知らせしている。アンケートは現状、卒園生と新入園児のみ行っているが、項目や記述欄に関しては見直す。非常時のメール発信に関しても検討する。
4	未就園児親子との交流	令和６年度に引き続き地域の未就園児親子が参加できるイベントを積極的に開催する。また、入園決定後に交流できる機会や。見学会の内容の見直しを検討する。	B	次年度に入園する子どもとその保護者を対象とした見学会や説明会を定期的に行い、見学会後の体操に参加してもらうことで、園の雰囲気に慣れてもらうことができた。入園決定後、入園前の不安を取り除くために、姉妹園である春日出幼稚園が行っている体験会の開催を検討する。
5	保育環境への理解と情報発信	今求められている幼児教育について知識を深めると共に、提供する保育内容について園内で検討していく。一人ひとりに寄り添った細やかな保育環境を設定できるよう今後も取り組む。	B	1 日の終わりにそれぞれの教職員が問題を出し合い、皆でそれについての意見を出し合い、共有している。月令の低い子など、手間がかかる子どもに時間をかけてしまうのは仕方がないことだが、できる子どもを褒めて伸ばすという意識も必要であり、バランスを考えた保育が必要である。話し合いは継続して行い、各学年の問題点を列挙するだけでなく、その

				問題点に対する対策、その後の経過を管理することで、ノウハウとして園の基盤としていく必要がある。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

Ⅳ．今後取り組むべき課題

1	姉妹園との連携した取り組みの充実	実際に行き来することが難しければ絵本や紙芝居の貸し借りや、情報交換に取り組む。
2	安全管理体制の充実	チェックリスト・マニュアルの作成を検討し、園環境の安全性の向上を目指す。
3	保護者への情報発信の充実	保護者の要望を把握する仕組み（保護者アンケート等）を検討し、園の実情を把握する。
4	人材育成	年齢に応じた研修の実施や、先輩職員の保育や同学年同士の保育が見られる機会を検討する。
5	未就園児親子との交流	来園の機会を増やす・その中で様々な経験をしてもらうなど、交流を質と量の面で検討する。

Ⅴ．学校関係者の評価

評価項目に対する取り組み内容、取り組み状況、今後の課題について、適切に記載されています。
2 項目の安全対策は園長先生をはじめ、教員の皆様が特に注意して下さっている書面を何度も拝見しています。
その他、達成状況も適切に評価されていると思います。今後もより一層のご活躍を期待いたします。

＜PTA 会長＞

姉妹園との交流について職員同士の情報交換がなされている事で、保育内容の充実や保育環境の向上につながる良い機会となると思います。
遊具や設備などの安全対策も日々行っている事、地震や災害などへの取組みも隣接した施設への避難場所が確保されており、保護者としては安心しています。
未就学園児の園見学では見学だけでなく、体操に参加できる機会をもうけるなど、より園が楽しい場所と感じられる工夫がされていると思います。
今後、体験会などを検討とのことですので、入園前の不安をより取り除くことができると感じました。

＜PTA 副会長＞

参観日が毎月あるので楽しみに足を運んでおります。先生たちはチームワークで上手に園児を育てて下さっていると感じています。
担任の先生以外の先生も園児の名前を覚えてくださっているので、コミュニケーションが取れて園児も元気よく生活していると感じました。
災害対策の訓練やお話し会では園児も理解したことを家で話してくれて成長を感じました。

＜PTA 書記＞

以上